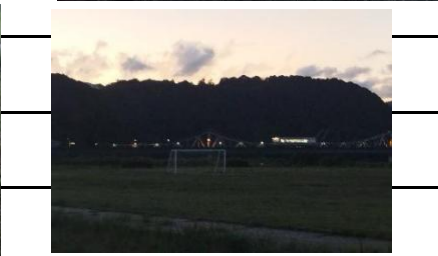


発生・発見日時	令和 7年 9月 1日	18時 30分頃
天 竜 川	右岸 (24.4 km)	付近
天竜川 右岸24.4km 付近を見学しました。		
今日から9月に入りましたが、暑い日が続いており、陽が沈みかけた夕方の時間帯でも		
車の外気温計を確認すると30℃もありました。		
河川敷では、ウォーキングや犬の散歩をする方々がいらっしゃいました。		
河川敷のグラウンド付近の看板を確認すると「夏の施設利用について」「緊急電話		
相談窓口」の紹介看板が設置されており夏場の熱中症への注意喚起が行われていました。		
ベンチテーブル付近を見た際にテーブル中央部に黒く焼けた跡が残っていました。		
直火で燃やされたのかは分かりませんが、公共の物は大切に使用していただきたいと強く感じました。		
ゴミ類では、紙くずのようなものが落ちていましたが、大きな不法投棄はありませんでした。		
		
		
		
		
		
		
植物では、ムラサキツメクサ、ツルボ、コマツナギなどの花が咲いていました。		
この周辺ではミヤマシジミという小型のチョウの仲間が生息しており、コマツナギは、		
ヤマシジミの産卵場であり幼虫の餌となるようで保全活動が行われているようです。		
		
		
		

発生・発見日時	令和 7年 9月 20日	9時 30分～12時00分	
天 竜 川	右岸 (24.4 km)	付近	
天竜川右岸24.4km付近にて9月20日（土）9：30より絶滅危惧種ミヤマシジミの保全活動が行われるとのことで現地へ伺いました。			
当日は、日本チョウ類保全協会が主催となり、会員や地元ボランティアの方々計20名程の参加があり、自分も微力ながら参加させていただきました。			
当日は、堤防道路の法面付近とグラウンド脇の北側の2箇所にて作業が行われました。			
絶滅危惧種のミヤマシジミは、コマツナギを唯一の食草としています。そのため、その他の雑草類が必要以上に伸びて侵略しまうと地面が覆われてしまい、コマツナギが生えなくなり結果的にミヤマシジミの減少に繋がってしまいます。ただ、伸びすぎていてもよくないため、その他の草を含め10～15cm程度残す「高刈り」がよいとのことでした。またこの時期河川敷で伸びるクズに関しては根元から抜き取ることが大切とのことでした。			
  			
  河川保全活動の取り組み、ありがとうございます。			

自分が活動をした場所では伸びたクズがほとんどでこれらを除去するのが一苦勞でした。

主催者の方に伺ったところ、以前は護岸方面でもミヤマシジミが見られたが現在は、

クズに覆われてしまい減ってしまったとのことでした。

なかなか地道な作業ではありますが、保全活動を継続的に続けてき徐々にでも昔のよう

な状況に戻していけると良いなと思いました。



発生・発見日時	令和 7年 9月 25日	15時 30分頃
天 竜 川	右岸 (16.4 km)	付近
天竜川 右岸16.4km 付近を見学しました。		
天竜川は、ここ最近大きな雨が降っていないこともあり濁りがなく比較的澄んでいるように見えます。		
川の中州付近に白い鳥が多数いましたが、距離があり特定はできませんでした。		
この周辺は、不法投棄重点監視中の看板が設置されているエリアとなっていました。		
自分が見た範囲では、大きな不法投棄はありませんでしたが、花火のゴミを確認しました。また、投棄された小石、瓦、園芸残土かは分かりませんでしたが、何か所か土が不自然にこんもりしている場所がありました。		
堤防道路から河川敷へ降りる場所を見ていくと、洗堀か大型車両が通過した影響か分かりませんが、コンクリートが深くえぐれておりデコボコになっていました。		
		
		

植物では、コマツナギ、メドハギ、イタドリ、ツルボ、クズの花が綺麗に咲いていました。

昆虫では、茶色イトノサマバッタと思われるバッタが複数おり秋の訪れを感じました。

